

高野山・黒河道を行く（橋本～高野山）

記録 Kid

日程：2019年5月19日（日）晴れ、日中、結構暑かった。

概要：標高100m～850m、歩行時間7H15m、歩行距離18.1k

メンバー5名

コースタイム

JR橋本駅9:00、明神ヶ田和10:20、市平橋11:10、林道合流点12:20 昼食、久保小学校跡13:15、雪池山分岐14:35、子継峠15:00(高野七口)、一本杉15:55、千手院バス停16:15、高野山ケーブル上16:40

感想

高野山には、今まで参詣道として、九度山からの町石道を16年秋から、秋、春と4回登ってきたが、今回の橋本からの黒河道は、初めてであり、昨年秋台風の影響もあり、中止し、そのリベンジであった。事前の調査では、上り下りが厳しく、高野山の参詣道としては、一番厳しいとなっていたので、心して臨んだが、五月にしては、暑い日差しで、結構しんどい山行となりました。

この道は、その昔、秀吉が、高野山からの大阪への帰りに使った道とされ、距離的には一番短く、地元の産物を高野山に届けるのによく利用されたとなっています。

まず、橋本駅をおり、駅前の閑散とした風景に、皆さん、のんびりしていいなど。そして、紀ノ川を渡ると、ちょうど河原で、消防団が、みんな揃って訓練の最初の偉いさんの訓示を聞いているのに、出会いました。そしてしばらく行くと、今回の出発点となる定福寺に着く。ここから、500m毎に道標が立っているとのことで、一安心。そのお寺の裏から、登りが始まった。約30分ののぼりで、最初の急登は終わり、振り返ると、紀ノ川と橋本の市街、遠く金剛山に連なる紀泉山脈といい眺めであった。そこからしばらくなだらかな道にはいり、明神ヶ田和に着く。丹生川まで下りる感じで沢沿いの下りを300m位下りてしまう。もったいない感じであるが仕方ない。そして丹生川に出合い、市平橋のたもとで休憩。そこから久保小学校跡までの、400m余りのジグザグの急登が始まった。途中林道の合流点で、12時を過ぎたので、昼食をとる。ここから久保小学校跡まで、約2k。緩やかな道を歩く。何かこの道は人気がないのか、まだ1人も会わない。小学校跡は、現在、九度山町の児童図書館になっており、窓からのぞくと沢山の絵本が棚に並んでいた。その小学校の脇を上っていく。小さな小学校であるが、3レーンのプールがあり、大したもんだと、みな感心。

そこから今日最後の登り（子継峠850mまでの400m）が始まった。これが、たいそうしんどかった。この間、杉林が多く、間伐されてきれいな林と全然手を入れてなく茫々とした林、厳しい日本の林業の一端を見る。子継峠で、登りは終わり。ここから高野七口の高野町側に入る。ここから急に風が冷たく感じられ、今までと別世界。また遊歩道はちゃんと整備され、近くに小川が流れていて、紫色のクリン草がたくさん自生していた。又、上をみると、まだ芽生えたばかりの若葉がきれいでいい眺め

であった。しばらく行くと一本杉に出た。ここからは、舗装道路で、高野山町に入った。高野山町は広く、いろいろな施設があった。歩くこと30分、高野山町の中心地に出、今日の終点のバス停に着いた。皆さんのおかげで、ほぼ予定通りに着くことが出来ました。

参考

高野山には、このほか、京・大阪道、長坂街道、女人道、高野三山巡りがあり、これから、秋、春と企画しますので、宜しくお願いします。 以上



橋本駅を出発



和泉山脈の山々



このような案内板があり、迷うことない



すぐ定福寺



官谷大使堂には旗も立ち道標となっている



民家の近くにホタルブクロ



地藏さんにはコウヤマキが



小さな石仏 (この上にカツラの大木)



明神ヶ田和



明神ヶ田和 (440m) の民家



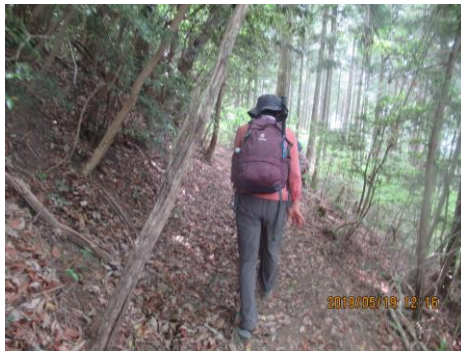
植林地に行く



谷沿いの道歩く



市平橋のたもとで休憩



後一息で峠です



美砂子峠にはクマ出没の表示



太閤坂入口の休耕田一角に小さな祠



くどやま森の童話館



雪池山山頂道とトラバース道分岐



子継峠



クリンソウ



揚柳山と転軸山の裾の平坦な道にはクリンソウ群生地



一本杉で車道に出る



千手院バス停